

社会福祉充実残額の簡易確認シート

社会福祉充実残額(以下「充実残額」という。)の有無を簡易の概算で確認するための参考資料です。確認の結果、「充実残額が生じる可能性あり」となった法人においては、国通知に沿った詳細な充実残額の算定と社会福祉充実計画の検討を進めていただきますようお願いいたします。
 なお、全ての法人において、今後、財務諸表等電子開示システムから提供される正式な財務諸表等入力シートにより、正確な充実残額の算定が必要となります。

1. 「活用可能な財産」を計算する。

法人全体の「貸借対照表」から4つの数値(右図参照)を以下に入力する。

A: ←入力

B: ←入力

C: ←入力

D: ←入力

活用可能な財産(A-B-C-D)

= ……E

投資有価証券				退職給付引当金			
				長期未払金			
				長期預り金			
その他の固定資産				その他の固定負債			
土地				負債の部合計	㉑		
建物				純資産の部			
構築物				基本金	㉒		
機械及び装置				国庫補助金等特別積立金	㉓		
車両運搬具				その他の積立金			
器具及び備品				〇〇積立金			
建設仮勘定				次期繰越活動増減差額			
有形リース資産				(うち当期活動増減差額)			
権利				純資産の部合計			
ソフトウェア				資産の部合計	㉔		
無形リース資産				負債及び純資産の部合計			
投資有価証券							
長期貸付金							
退職給付引当資産							
長期預り金積立資産							
〇〇積立資産							
差入保証金							
長期前払費用							
その他の固定資産							

【計算結果】

2. 充実残額の有無を簡易の概算で確認する。

(1) 法人全体の「資金収支計算書」から年間事業活動支出(右図参照)を以下に入力する。

F: ←入力

【参考】
 社会福祉充実計画の承認等に係る事務処理基準3(7)の特例について、施設を運営する法人であっても、要件を満たす場合は、年間事業活動支出全額を控除する特例を適用することができる。

(2) 活用可能な財産から年間事業活動支出を控除する。

E ※入力不要

- F ※入力不要

= ※入力不要

【確認結果】

勘定科目		予算	決算	差異	備考
	介護保険事業収入				
	老人福祉事業収入				
事業活動による収支	借入金利息補助金収入				
	経常経費寄付金収入				
	受取利息配当金収入				
	その他の収入				
	流動資産評価益等による資金増加額				
	事業活動収入計				
	人件費支出				
	事業費支出				
	事務費支出				
	就労支援事業支出				
授産事業支出					
(何)支出					
利用者負担軽減額					
支払利息支出					
その他の支出					
流動資産評価損等による資金減少額					
事業活動支出計			F		
事業活動資金収支差額					